

2023年9月29日  
株式会社三菱UFJ銀行

FIP制度を活用した太陽光発電事業に対する  
当行初のプロジェクトファイナンス組成について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>はんざわ じゅんいち</sup>半沢 淳一、以下「当行」）は、柏崎ソーラー合同会社（業務執行社員 三菱商事クリーンエネルギー株式会社）との間で、優先貸付契約（以下、「本契約」）を2023年8月15日に締結いたしました。

本事業は、新潟県柏崎市18.6MWdc規模の太陽光発電事業を対象としたプロジェクトファイナンス案件となります。当該太陽光発電事業は、オフサイト型コーポレートPPA（※1）によりGreenest Energy株式会社向けにクリーンな再生可能エネルギーを供給すると共に、2022年4月より導入されたFIP（※2）の新規認定を取得しております。当行は、これまで再生可能エネルギー発電事業や、PFI事業におけるプロジェクトファイナンスの取組を通じて培ったノウハウを生かし、FIP制度に基づくプレミアム収入もプロジェクトファイナンスの返済原資の対象とするファイナンススキームを構築し、本契約の締結に至りました。

本ローンの概要

契約締結日	2023年8月15日
アレンジャー/貸出人	株式会社三菱UFJ銀行
組成金額	32億円
資金使途	太陽光発電事業の開発

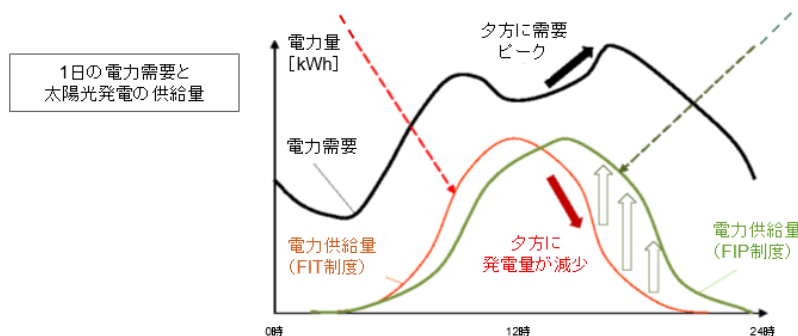
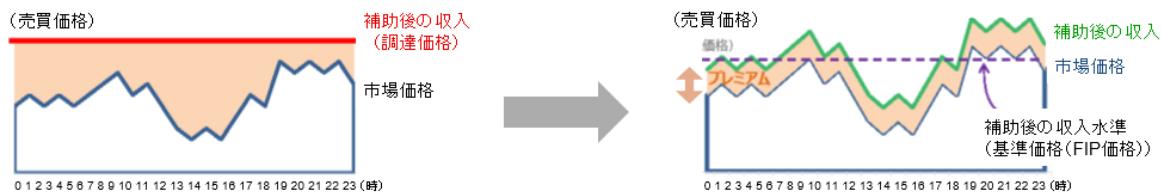
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。2021年5月17日に公表の通り、2050年までに投融資ポートフォリオの温室効果ガス排出量のネットゼロ、および2030年までに当社自らの温室効果ガス排出量のネットゼロの達成をコミットする「MUFGカーボンニュートラル宣言」を発表しました。その実現に向けて、2030年度までのサステナブルファイナンス目標額35兆円を掲げ、今後もお客さまのESGの取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

（※1）オフサイト型コーポレートPPA：電力を利用する場所と異なる敷地に発電設備を設置し、送電系統を通じて電気を需要家に届ける仕組み。PPAとは、Power Purchase Agreementの略称で、発電事業者と小売電気事業者や需要家、又はアグリゲーターとの間で締結する電力受給契約を指す。

（※2）FIP：Feed-in Premiumの略称で、再エネ自立化へのステップとして、電力市場への統合を促しながら、投資インセンティブが確保されることを目的とする制度。再エネ電気が効率的に供給される場合に必要となる費用の見込み額などを考慮して設定される「基準価格」と、市場取引などにより発電事業者が期待できる収入である「参照価格」の差を「プレミアム」として発電業者に付与する。

<参考>FIT (Feed-in Tariff) と FIP (Feed-in Premium) のイメージ

FIT制度	価格が一定で、収入はいつ発電しても同じ →需要ピーク時(市場価値が高い)に供給量を増やす インセンティブなし	FIP制度 <sup>1</sup>	補助額(プレミアム)が一定で、収入は市場価格に連動 →需要ピーク時(市場価値が高い)に蓄電池活用などで 供給量を増やすインセンティブあり <sup>2</sup>
-------	--	--------------------	---



(注1) FIPに関する制度概要は、資源エネルギー庁が発行する「再生可能エネルギー FIT・FIP制度ガイドブック 2023年度版」も併せてご参照下さい

(注2) 補助額は、市場価格の水準に合わせて一定の頻度で更新

(出所) 2020年7月22日 再エネ大量導入・次世代NW小委員会(第18回)・再エネ主力化委員会(第6回)合同会議資料2(一部加工)

以上